

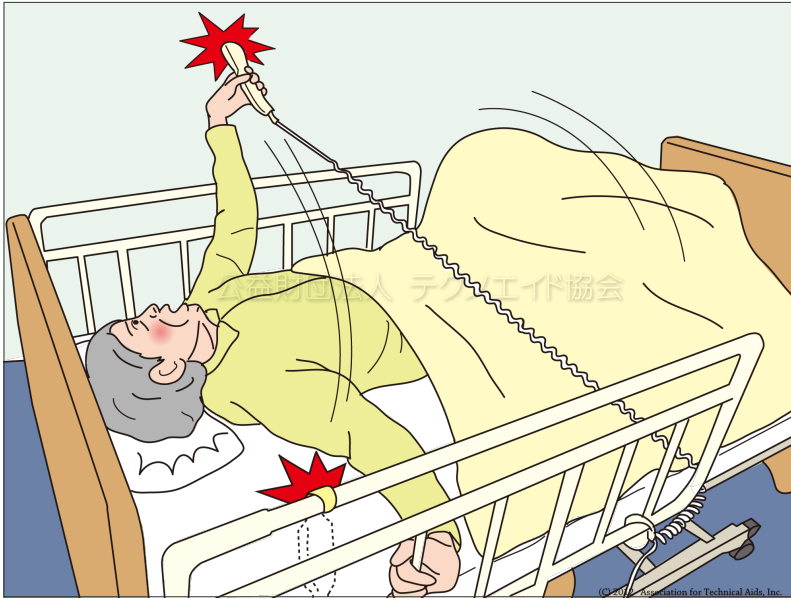
## 福祉用具ヒヤリハット情報

Case : 197

寝返りをする際に手元スイッチを誤ってつかんでしまい、フックが切れて、バランスを崩しそうになる

### 場面の説明

寝返りのためのベッドの柵（サイドレール）をつかもうとしたが、誤って手元スイッチをつかんだため、フックが切れてひっくり返ってしまった



利用シーン

起居・就寝  
リモコン操作

主な利用場所

寝室

介護保険の種目

特殊寝台付属品

分類コード(CCTA95)

181227(ベッド用サイドレール,  
ベッド固定式起き上がり手すり)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



### 解説

寝返りをする際などに、ベッドの柵（サイドレール）に架けてある手元スイッチを引っ張ってしまうことがあります。このような事故につながりかねない事例のほか、断線などの故障にもつながります。利用者は、わらにもする思いで掴んでしまうので、そのような場所に手元スイッチを格納しないなど、介助者の配慮も大切です。

### 参考要因

人：ベッドの柵（サイドレール）でよくつかむ箇所に手元スイッチを格納していた  
人：手元スイッチを引っ張っても大丈夫なものと油断していた  
モノ：引っ張る人はいないという前提で設計されていた